

愛情ギュッとす〜っとはむら♡

広報 はむら

3月15日号

令和3(2021)年

広報はむら 令和3年3月15日号

令和3(2021)年3月15日発行 第1041号 URL = <http://www.city.hamura.tokyo.jp>
[発行]羽村市 [編集]羽村市広報広聴課 〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘5-2-1 ☎042-555-1111 ⑨337 FAX 042-554-2921

市内にあるお宅の玄関の梅。植えてから約50年、愛情をいっぱい注がれてきたんだね。とっても見事に咲いていたりん♪ (2月22日撮影)



暮らしに役立つ約 350 事業者の情報を掲載！

羽村エール Book

市では、コロナ禍で頑張る全産業分野の事業者の、認知度向上や新たな魅力発見につなげるため、「羽村エール Book」を発行しました。



羽村エール Book ▶



「羽村エール Book」には、事業所の紹介のほか、持参すると受けられるお得なサービスも掲載しています。暮らしに役立つ、お得に使える情報誌です。

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響でアルバイトやパート時間が減った市民や学生などが「エールレポーター」として、実際にお店を訪問して取材したレポートも読むことができます。

広報はむら3月15日号と一緒に配布しています。ぜひ活用してください。

問合せ 産業企画課 ☎667



◆◆◆◆ 収蔵品ファイル ◆◆◆◆

その89

シリーズ 博物館と動物⑥ 「馬のわらじ」

写真は、昭和の初め頃につくられた馬用のわらじです。馬の沓ともいい、蹄の形に合わせて丸い形をしています。

飼育されている馬は、野生の馬と比べ蹄がもろく傷つきやすいため、砂利道などの悪路から蹄を守る必要がありました。そのため、江戸時代以前から馬のわらじが使われていました。

蹄鉄は近代になって普及し始め、羽村でも昭和の初めには使われていたと思われます。

馬は農耕用だけでなく、荷物の運搬にも欠かせない大切な存在でした。

問合せ 郷土博物館 ☎558-2561



郷土博物館公式 Twitter ▶



▲大きさは19cm×15cmほどです。蹄鉄が普及した後も、蹄鉄の上に履かせた例があったようです。



広報はむらは再生紙を使用しています

市公式サイト



市公式 PR サイト



Twitter



Facebook



Instagram



YouTube

